

○生活科の課題分析と具体的な授業改善計画（令和3年度授業改善プラン 入新井第一小学校）

*令和2年度の改善プランの検証

児童は意欲的に学習に取り組み、経験や体験から得た気づきを、その後の学習や生活に生かすことができた。また、異学年交流は、コロナの影響で交流は難しかった。限られた条件の中で、かかわりへとつなげていきたい。今年度も、地域と生きる子どもというコンセプトで学習をすすめる。自然や生き物の学習では、季節の変化や成長に気づきが大切であるが、校舎改築による校内の自然環境の減少や、地域柄自然と触れ合うことが少ないので意識的に観察を計画していきたい。また、コロナ下ではあるが、地域の方との触れ合いは継続して取り組み、地域の一員として意識をさらに高めていく。

*令和3年度の改善プラン

	観点	児童の実態	明らかになった課題	具体的な授業改善案	
生活	知識・技能	一年	・自分を取り巻く人や自然に関心をもって接している。 ・飼育する生き物の様子に関心を持ち、意欲と親しみをもって大切に世話をしている。	・積極的に関わることができるが、絵をかいたり文にしたりする表現が苦手な児童がいる。	・表現する場面で、疑問、感動、驚きを大切に活動になるよう、実物や写真を十分に用意をして授業に臨む。 ・観察の前に、観点を明らかに示し、表現する意欲を湧くようにする。
		二年	・自分が育てている野菜を観察し、その成長や変化に気付いている。	・活動から得た気づきを十分に自覚できていなかったり、文章に表すことが苦手な児童がいる。	・観察の観点の他に、考えたこと、気付いたことを記入することを指導し、気づきの文章化を推進していく。 ・児童の気づきの質を高められるよう、具体物を用意するなど、教材研究や準備、具体的な手立てを考えていく。
	思考・判断・表現力等	一年	・観察カードのかき方に少しずつ慣れ、気づきを表すことができるようになってきた。 ・絵だけではなく簡単な文章で自分で発見したことについて説明できるようになった。	・一部の児童は、自分の思いや気づきを言葉にしにくかったり、観察カードに最後まで書ききれなかったりすることがある。 ・自分の思いや願いを自分の言葉で表現することが苦手とする子どもがいる。	・観察の視点や観察カードのかき方を具体的に指導する。 ・活動や発表のめあてを具体的に伝える。また、まとめの際には書き方のよい例と悪い例を示し、めあてに合った学習ができるようにする。
		二年	・与えられた観点で観察や学習カードに取り組み、完成させることができるようになった。 ・活動から得られた気づきを絵や文章でまとめたり、自分の思いや考えを加えたりする力もついてきた。	・観察した様子について具体的にまとめることが困難な児童も見られる。 ・学習したことをまとめて発表する際に、発表の仕方に個人差・グループ差がある。	・中学年からの理科の学習につなげられるように観察カードへのまとめ方を指導していく。学習課題が解決できるよう、毎回今までの学習のまとめを掲示し、子供たちが振りかえられるようにしていく。 ・活動や発表のめあてを具体的に伝える。 ・発表の話型を提示し、発表の仕方を指導していく。
	主体的に学習に取り組む態度	一年	・動植物を日常的に世話をすることや校内の人とのふれあい等から、自他の成長や自分の変化に気付く。	・気づきを言葉にすることができても、観察カードにかき表すことが苦手な児童がいる。	・直接かかわる活動や体験の中で生まれる知的な気づきを大切にし、友達同士が気づきを共有できる時間を設ける。
		二年	・各自の植木鉢育てているミニトマトの世話や観察に、熱心に取り組んでいる。 ・自然の生き物に関心を持ち、活動している。	・積極的に取り組むが、絵や言葉での表現が苦手な児童がいる。	・観察の前に、観点を明らかに示す。観察カードでは、色・大きさ・形を正確に記録させ、絵においては写真を写すことも活動に取り入れる。